

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会  
CISPR D 作業班 (第 1 回) 議事要旨 (案)

- 1 開催日時：平成 24 年 9 月 10 日 (月) 11 時 00 分～12 時 00 分
- 2 開催場所：金融庁 14 階 1415 会議室
- 3 出席者 (順不同)

【構成員】塚原主任 (日産自動車)、野島主任代理 (トヨタ自動車)、植木構成員 (自動車技術会)、尾上構成員 (NHK)、篠塚構成員 (NICT)、垂澤構成員 (NTT ドコモ)、前田構成員 (アイシン精機)、三塚構成員 (TELEC)

【事務局】黒田・下谷 (総務省)

#### 4 議事概要

- (1) 事務局から配付資料の確認が行われた。
- (2) 資料 1—1 前回議事要旨 (案) について、修正意見等あれば 1 週間以内に事務局まで連絡することとなった。
- (3) 資料 1—3 CISPR バンコク会議 SC/D WG1 対処方針 (案) について、野島主任代理から説明があり、以下の議論の後承認された。
  - 篠塚構成員：電気自動車関連について、CISPR12 は自動車から出るノイズについての規格であるが、充電設備については CISPR12 の範囲ではないという考えでよいか。

野島主任代理：そこは SC/B の所掌である。

篠塚構成員：交流で自動車に充電する際に、自動車側のインバーターで直流に変換することになると思うが、その際のエミッションについては CISPR12 で見ることになるのか。

野島主任代理：本来そうであるが、交流も直流も対象とするようにしている。基本的には自動車から発生するノイズを計測する主旨である。
  - 三塚構成員：電気自動車の充電中の通信については CISPR12 に含まれるのか。

塚原 主任：CISPR22 等と言われる「通信ポート」の測定については含まれるだろう。

三塚構成員：電力線に重畳させるようなものについても含まれるのか。

野島主任代理：これから第 7 版の内容を議論する際に検討されていくものだろう。

三塚構成員：測定において擬似電源回路網を使用した際に、通信が重畳されていれば通信が出来なくなる可能性が気になったが、これからの議論ということで了解した

(4) 資料 1-4 CISPR バンコク会議 SC/D WG2 対処方針（案）について、前田構成員から説明があり、以下の議論の後承認された。

○三塚構成員：150kHz より低い周波数については範囲にはなっていないのか。

前田構成員：受信機の障害ということで主に車載ラジオや無線機を対象としたものである。

三塚構成員：今後は周波数範囲が拡大していくことはないのか。

塚原 主任：今のところ議論にはなっていない。

(5) 資料 1-5 CISPR バンコク会議 SC/D JWG A-SITE-VAL 対処方針（案）について、前田構成員から説明があり、特段の議論はなく承認された。

(6) 資料 1-2 CISPR バンコク会議 SC/D 対処方針（案）について、野島主任代理から説明があり、特段の議論はなく承認された。

(7) 資料 1-7 CISPR バンコク会議 SC/D 関連会議参加者（案）について、塚原主任から説明があり、特段の議論はなく承認された。

(8) 次回会合は未定。

以上